

活動報告書

【地区巡回補導の様子】

4月、6月、8月、12月と推進委員を中心に小学校の巡回補導を実施。継続して実施している事業で、令和5年度で計353回目となる。



【地域の方との学習の様子（総合的な学習の時間を中心に）】

各学年学校周辺に出かけて、地域学習を実施。地域の方にご指導をいただきながら地域を知る学習を進めている。



(第5学年社会科)



(第4学年総合的な学習の時間)

青少年健全育成だより

No.2

発行者
会長 西坂敏夫・広報部会

令和5年度各部の記録

御山地区大運動会(御山地区体育協会)

令和5年.10.8



町内対抗で、大人も子どもも一緒に気持ちよい汗をかきました。



正月用輪通しづくり(健全育成部会)

令和5年.12.17



御山敬神会の皆様や地域の方々々に教わって、お正月に飾る輪通しを親子で作りました。



御山太々神楽(健全育成部会)

令和5年.12.17



市指定無形民俗文化財(昭和54年指定)の御山太々神楽を御山小の子ども達も加わり披露いただきました。

健全育成文庫の寄贈(健全育成部会)

令和6年.1.24



今年度も御山小へ図書を寄贈いたしました。多くの子ども達に読書に親しんでもらいたいと思います。

令和5年度の本来活動概要と自己肯定感について

御山小学区青少年健全育成推進会長 西坂 敏夫



1. 本会の活動概要

コロナウイルス感染から3年余りが経ち、5月8日から季節性インフルエンザと同じ5類に引き下げられました。本会においては、4年ぶりに対面による総会を開催し、令和5年度のスタートを切りました。各部の活動も会員の皆様のご協力により順調に実施されました。また、恒例の御山太々神楽の鑑賞と正月用輪通しづくりも開催でき、70名ほどの地域の皆様・子ども達が参加されました。

2. 「おええ！あなたのヒーロー・ヒロイン」の募集

御山小学校の児童155名(過去最多)が応募してくれました。毎年参加者が増えている状況で、たいへんうれしく思います。

さて、子ども達のヒーロー・ヒロインは誰でしょうか。集計してみると、父や母44人、きょうだい15人、祖父母5人、友だち19人、先生やコーチ9人、見守りボランティアや交通指導員6人、アニメや本の主人公26人、ペット9人、その他の人など22人でした。父母をはじめ家族を募った児童は64人(41%)となりました。優しくされたり、励まされたり、アドバイスされたりと、愛情に包まれた家族の姿を知ることができました。また、自分が選んだヒーロー・ヒロインに対する感謝の気持ちと自分もヒーロー・ヒロインになれるようにしようとする意思も感じられました。

3. 清水地区防犯協会・青少年健全育成推進会連絡会 合同研修会

講話「子ども心のケアについて」 講師：福島学院大学 佐藤則行氏

去る12月1日に清水支所において標記の研修会が開催されました。講話の中で私が特に気になった「自己肯定感を高める」について、講話を元に整理してみました。

まず、自己肯定感とは、その言葉のとおり他者と比較することなく「ありのままの自分を肯定する感覚」のことです。

「自分自身に満足しているか」を尋ねる質問(平成30年度我が国と諸外国の若者：対象者満13歳から29歳)の結果は、次のようでした。

「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた割合は、アメリカ87%、ドイツ81.8%、韓国73.5%に対して日本45.1%とたいへん低い結果でした。

自分を肯定的に思うための基準として、自尊感情には①他者と比較して優れているところ(very good: 「とてもよい」)②自分の価値基準で判断するところ(good enough: 「これでよい」)の2つの側面があります。①は誰もが注目しやすく気づきやすい。しかし、自分を肯定するハードルが高い。②の「これでよい」に気づくためには「適応行動」に注目して自分の「いいところ」をみつけることです。「いいところ」とは、今の生活の中で「できている」ことや、した方がよいことの中で「できている」ことです。例えば、「宿題をやった。友だちに挨拶した」などです。これらを「いいところ」と認識し、さらにいいところを増やしていくことによって、自分を認める基準を獲得でき、「自己肯定感が高まる」こととなります。

私たちが大人は、「そんなことは皆やっている」「できて当たり前でしょ」と言いがちではないでしょうか。まずは、当たり前のことがきちんとできていることを「いいこと」と認識しましょう。そして、他者との比較をせず、温かく見守り、応援して「自己肯定感」の持てる子ども達を育ててまいりましょう。

令和5年度活動資料

森合地区青少年健全育成推進会

1 事業名 正月飾り作り教室

2 日時 令和5年12月23日(土) 8:30~11:00

3 場所 森合小学校 体育館

4 参加者 61名

5 活動の実際

・準備



・完成見本



・説明



・制作1



・制作2



・記念撮影



令和5年10月20日

(1) 第65号

発行 令和5年10月20日発行
第65号

すこやか

発行 北沢又小学区
青少年健全育成推進委員会
会長 安齋 亘
編集者 栗原利典
事務局長 栗原利典
広報部長 栗原利典
事務局 北沢又小学校
〒958-8681 福島県北沢又小学校内 電話558-8681

第四十回 北沢又小学区青少年健全育成推進会 総会

令和五年六月三日(土)北沢又小学校体育館にて開催

ごあいさつ

北沢又小学区青少年健全育成推進会
会長 安齋 亘

日頃より、地域の皆様、関係者の皆様には、本会へのご理解とご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も五類感染症へと移行し、各団体の感染者数も落ち着いていることから本会でも総会開催を決定しました。まだまだ感染への不安はあることから半沢又小学校の体育館をお借りして密にならないよう十分に注意をしながらの開催となりました。

四年ぶりに各町会の皆様や関係者の皆様のお顔を拝見できましたこと大変嬉しく思います。本会の活動の報告や新しい取り組みについてお聞きいただき、また貴重なご意見もいただきありがとうございました。

コロナ禍でも何とか活動を継続させ今年度に繋げることができたことに喜びを感じるとともにご支援をありがとうございます。

これからも、皆様のご意見を参考に地域の子どもたちのためにできることを実施していきたいと考えております。

学区内パトロールの実施

令和五年七月二十七日(木)・八月十七日(木)

夏休み中楽しく過ごせるよう、事故にあわないようにと非行防止活動部会でパトロールし、呼びかけました。



青少年健全育成街頭啓発活動への参加

令和五年七月二十三日(日)

「のびよう、のぼせよう、たくましく」をテーマとして七月一日から八月三十一日まで実施された「青少年健全育成市民総ぐるみ運動」の一環として青少年の健全育成を推進する必要性を広く市民に周知するために、街頭啓発活動が実施され、本会からも参加しました。



祭りに行きたい地域の伝統

皆さんは、春の諏訪神社の例大祭や夏の盆踊りの際に、太鼓を叩いたり見かけたりしたことありますか？平成元年から続けられているこの活動「コロナ禍で活動ができなかった三年間が終わり、いざ再開となった今、町内会の児童が十数人となり練習もできなかつたために伝統的な山車を引き町内を練り歩くことが難しくなっているようです。

現在は太鼓歴六十年の北沢又太鼓保存会、会長の森口和春さんを中心に伝統を大切に守って下さっています。

森口会長が太鼓を始めたのは、小学六年生の時で当時住んでいた町の大橋製材所のおじさんから盆踊りの太鼓を教わってもらったのがきっかけだそうです。

子供時代の体験はとても大切で大人になっても忘れないものです。森口会長のように地域の方に教えてもらったという体験をぜひ北沢又地区の子どもたちや親御さんなどにもしてほしいと思います。

本会では、保存会の皆様と共に体験会を開き興味を持ってもらい担い手を育成していきたいと考えています。準備が整いましたらお知らせいたしますので、その際にはぜひ参加して体験していただきたいと思っております。



令和6年3月20日

(2) 第66号

「モルック」「ポッチャ」体験会

令和5年12月16日(土) 北沢又小学校体育館にて開催

今年度は、ドッジボール大会に変わり少人数でも楽しめるスポーツの体験会を開催しました。講師にスポーツ推進委員の山田達男様を迎え、参加児童14名と保護者の皆さんと一緒に試合形式で楽しみました。
「モルック」「ポッチャ」は2人からできるスポーツで、分かりやすく簡単にできるようになりますが、戦略を考えることが大事でなかなか奥の深いスポーツです。来年度も開催してみたいと思いますのでその際はぜひ参加してください。



モルックは、50点ゴツタリにするというルールがあまうと25点とかにもなることがあった。ポッチャでは負けてしまったけど、やれて楽しかった。ポッチャ、モルック、ポッチャ、やりやすい！

木(モルック)をぶん投げた。11個くらい倒せました。おじいさんのおしえかたがやさしかった。

モルックが楽しかった。モルックのルールが知れて良かった。おじいさんには楽しかった。おじいさん、楽しかった。

専用の道具で、50点のモルックボールに、おじいさんが投げた。おじいさんが、少し気がひっくり返りました。ポッチャは、おじいさんが、おしえかたがやさしかった。おじいさん、楽しかった。

「モルック」「ポッチャ」用具 寄贈

体験会を開催したことで、手軽に楽しめるスポーツと分かり、また授業で「ポッチャ」を行っているとお聞きしたので、たくさんの子どもたちが遊べるようにモルック、四セットとポッチャ二セットの用具を寄贈しました。
早速、楽しく遊んでいるようで嬉しく思います。



平野地区青少年健全育成推進会



第102号 令和5年8月24日 発行日 根本 眞 青少年健全育成推進会(平野小内) 発行者 根本 眞 発行人 根本 眞

平野地区青少年健全育成推進会

会長 根本 眞

6月上旬には40周年記念誌「ひらのの伝承とくらし」改訂版(非売品)を各町内会長様のご協力を得て全戸に配布することができました。ありがたうございました。ご家庭で活用いただき、平野の今昔に思いを寄せたり、地域についての関心を深めたりする機会となれば幸甚です。

第36回「少年の社会参加活動」は基本計画に戻り、地域探訪とクリン活動として開催することといたしました。6月下旬には事前打ち合わせを行い、今年度は恵西・石橋・江添・石堂4町内を対象とした計画を協議し、参加者の募集を関係者のご協力により実施する運びとなりました。

スローガンである“大人がかわれれば 子供も変わる”

“地域の子供は地域で守り育てる”のもとに青少年の健全育成に努めてまいります。



昨年度水雲神社の様子



地区内巡回活動



全体研修会の様子

《本部役員》

Table with columns: 職, 役職名, 氏名, 氏名, 氏名. Lists various roles like 顧問, 会長, 副会長, etc.

《編集委員》

Table with columns: 職, 役職名, 氏名. Lists editorial committee members.

《市青少年健全育成推進員》

Table with columns: 職, 役職名, 氏名. Lists city youth health promotion members.

笑顔にっこり 言葉はっきり 時間はっきり

笑顔にっこり 言葉はっきり 時間はっきり

福島市立平野中学校 校長 湯田 公夫



私が教員になろうと決めたのは高校3年生の夏。「荒れた学校」がメディアで数多く取り上げられるのを見て「自分が先生にならなければ日本の教育はダメになる」という謎の使命感(もしくは勘違い)に駆り立てられたのがきっかけだった。

今年で教員生活も37年目になるが、その間には、元気の良過ぎる子どもたち(いわゆる「不良グループ」)に向き合い、生傷が絶えないような時期もあった。

そんな彼らが卒業してから数年後、成人式の夜のパーティーに招待された。宴席が中盤に差しかかった頃、彼らが私の前に横一列に並び、順番に感謝の言葉を述べ始めた。彼らの成長に感激するとともに、一瞬にして苦勞が報われた思いがした。

彼らと関わったのは、中学3年のたった1年間。必死に向き合ったが思うような成果が得られず、自分の力不足を痛感した1年間だった。

子どもたちは日々変化する。大人が勝手に決めたイメージをどんどん塗り替えていって成長する。そうした成長を見届けられるのは教員の醍醐味だ。

とは言え中学校の教員が子どもに関われる期間は長くても3年間。あつという間だ。在学中は、成長の一部分を切り取って見ているに過ぎない。もつと長い目で子どもを見守り続けなければ、本当の成長を知ることにはならない。…前述の彼らは、まざまざとそこを覚えてくれた。

子どもを植物に例えるならば、教員は風、家庭や地域は大地である。風は雨をもたらして通り過ぎるが、大地は植物を支えながら養分を与えて成長を見守り続ける。子どもの健やかな成長には、どちらも欠くことはできない。

幸いなことに、平野の地域力は他地区に比べ圧倒的な強さを誇っている。この立派な大地に負けない風を起こすためのスローガンとして、平野中では「笑顔にっこり、言葉はっきり、時間はっきり」を掲げている。

自分だけでなく周りの笑顔も大事にできる生徒、自分の思いや考えをはっきりと言葉で示せる生徒、社会生活の基本となる時間を守れる生徒を育てたいという思いを込めたものだ。

自分自身は、相変わらず力不足だが、謎の使命感(もしくは勘違い)を武器に、地域の皆様のお力添えをいただいたきながら、子どもたちの健やかな成長をうながす風を吹かせたいと思っている。



第28回 湯野子どもの集い ～みんなで遊ぼう～



定番の輪投げ



中学生の職場体験発表



結構ハマるマグダーツ



意外と難しいカローリング



奥が深い!? ディスゲッター



大人が熱くなるじゃんけん大会

今回の湯野子どもの集いは令和六年一月二十一日の日曜日に、湯野小学校の体育館で約四年ぶりにコロナ前と同じく開催されることとなりました。しかし残念なことに、当日はこの時期には珍しく大雨となってしまうました。悪天候のせいもあってか、参加する子どもの数が、予想より少なくして少し寂しい感じでしたが、多くの中学生がお手伝いをしてくださり、盛り上げて頂きました。とても感謝しています。また、職場体験の発表もとても良かったです。

私は湯野青少年健全育成推進員に、かれこれ十年以上関わらせていただいておりますが、年々子どもたちの数が減っていき、育成会も無い地区もあるようです。また、中学校でも生徒の数が減って、部活動も少なくなると聞きましました。子供が減っているのは湯野だけの問題では無いのですが、そんな状況の中、この湯野・東湯野地区ではソフトボールやバレーボールなどのスポーツ少年団が活動しています。この地域の底力を見せて頂いているようで、とても励みになります。

これからも湯野と東湯野で力を合わせて、この地域の子ども達に何をしてあげられるかを考えて、活動していきたいと思えます。

湯野青少年健全育成推進員
田村哲也

令和5年度活動資料

茂庭地区（小学区）青少年健全育成推進会

1 事業内容

茂庭地区青少年健全育成推進会では、茂庭地区体育協会が主催する事業のうち、世代間交流や子どもたちの体験の活動の場を提供する各種事業に継続して協力しています。

また、夏休み期間中にキャンプ場の巡回補導活動（併せて清掃活動）を行うなど、地域で子どもたちの健全育成・非行防止を図る活動を実施しています。

2 事業の様子



(凧作り・凧揚げ大会)



(キャンプ場巡回補導)

令和5年度活動資料

松川地区（小学区）青少年健全育成推進会

【異世代交流つり大会】



9月9日(土) 親子・地域の方で新潟西港へ海釣りに行ってきました。3年ぶりの開催でしたが、天気にも恵まれ、和気あいあいと異世代交流を深めながら釣りを楽しみました。

総勢25名の参加者で、とても楽しい1日を過ごすことができました。



【しめかざり作り】

12月9日(土)、地域の方を講師にお招きし、正月に飾る「しめかざり作り」を行いました。地域の方を講師に招き、やさしく手ほどきを受けながら、日本の伝統文化であるしめかざり作りにチャレンジしました。はじめは難しそうな子どもたちでしたが、講師の皆様にご教授いただきながら作り上げることができました。



令和5年度活動資料

金谷川地区(小学校区)青少年健全育成推進会

1 活動内容

金谷川地区青少年健全育成推進会では、通年をとおして、登下校時の通学路の見守り活動を実施したり、夏休み中の危険箇所の点検をしたり、地域で子どもたちの健全育成を図る活動を展開している。

その他、読書による心の教育推進、環境美化奉仕作業、資源回収、情報モラル教室などの活動を実施している。また、数年ぶりに地区のカルタ大会にも参加することができた。



(読書推進活動の様子)



(環境美化奉仕作業の様子)



(資源回収の様子)



(カルタ大会の様子)

令和5年度活動資料

下川崎地区（小学区）青少年健全育成推進会

1 活動内容

下川崎地区青少年健全育成推進会では、通年をとおして、あいさつ運動や通学路の見守りの下校パトロール活動を実施している。加えて、花いっぱい運動として通学路のマリーゴールド植栽や夏休み中の夜間パトロール（巡回補導活動）を行うなど、地域の子どもたちの健全育成・非行防止の活動に取り組んでいる。

その他にも、地区内の危険箇所点検や通学路や学校敷地周辺の除草剪定作業をし、安心安全な地域づくりを行っている。

2 活動の様子



（花いっぱい運動マリーゴールド植栽）



（地区内の危険箇所点検）

令和5年度活動資料

大森地区(小学校区)青少年健全育成推進会

1 事業内容

大森地区青少年健全育成推進会では、子どもたちのキャリア教育の一環として仕事を体験を計画しました。子どもたちは自分が体験したい活動や将来就きたい仕事について自分で選び、施設やお店の方の協力のもとに仕事を行い、その大変さや楽しさを実際に感じる事ができました。

2 事業の様子



(幼稚園での保育体験)



(ピザ屋でのお仕事体験)

鳥川地区青少年健全育成推進会

1 活動内容

鳥川地区青少年健全育成推進会では、地区内の各種団体と協力し、年間を通して登下校時の「ながら見守り」運動を実践している。また、夏季休業前の危険箇所点検、夏季休業中の街頭補導、着衣泳講習会など各種活動を展開している(着衣泳講習会は、猛暑のため屋内で実施)。

さらに今年度は、コロナ禍により3年間実施できなかった「鳥川杯」を再開し、ティーボールを通じて大人と子ども、子ども同士がそれぞれ交流の中で絆を深めることができた。

これらの活動の様子は、2月に「健全育成だより」を発行、地区内全戸に配付してお知らせしている。これらの活動を通して、活動への理解・協力を求めるとともに、青少年健全育成の啓発に努めている。

2 活動の様子



着衣泳講習会



鳥川杯

令和5年度活動資料

平田地区（小学区）青少年健全育成推進会

1 事業内容

平田地区青少年健全育成推進会では、「家庭・地域と連携・協働し、地域とともにある学校」を目指す平田小学校の子どもたちの学び・体験の活動の場を提供することの一環として、PTA教養講座の支援・協力を行っています。

PTA教養講座では、平田小PTA及びJA婦人部の協力を得て、クリスマスリースづくりを親子で行いました。

2 事業の様子



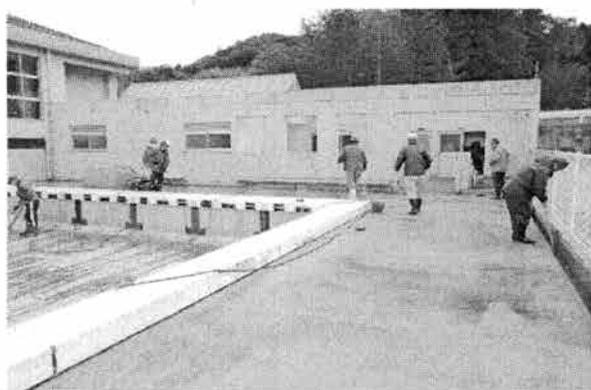
令和5年度活動資料

平石地区(小学区)青少年健全育成推進会

【活動内容】

平石地区青少年健全育成推進会では、地域と家庭とが「子どもたちの健やかな成長のために」と協力し、プール清掃やクリーン活動を実施した。また、地域の夏祭りが本校で開催され、子どもたちも地域の方々と交流することを通して、平石地区の良さや地域のあたたかさやつながりを実感することができた。

1 プール清掃(5月14日)



2 平石地区夏祭り(8月14日)



3 クリーン活動(11月19日)



令和5年度活動資料

野田地区（小学区）青少年健全育成推進会

1 活動内容

野田地区青少年健全育成推進会では、登下校時の通学路の見守り活動を実施したり、地域の危険箇所点検を実施したりするなど、安心安全な地域づくりを行っている。

その他、地区の小中学生を対象に標語コンクールを実施し、優秀作品を看板にし、学校周辺に掲示するなど、地域で子どもたちの健全育成・非行防止を図る活動を行っている。

2 活動の様子



(標語表彰式の様子)



(学校前設置標語看板)

令和5年度 地域子ども応援事業活動報告

庭坂地区青少年健全育成推進会

1 明るい地域づくり標語コンクール

庭坂小学校児童を対象に「防犯」、「交通事故防止」、「非行防止」をテーマとした標語コンクールを行っています。青少健の役員が標語の審査を行い、入賞作品を選びました。入賞者、参加者には商品を贈呈し、活動を盛り上げました。また、庭坂地区全家庭に入賞作品が印刷されたクリアケースをしました。

さらに、最優秀作品は立て看板にして、地区内に設置することで、啓発をはかります。



歴代の最優秀作品



令和5年度の最優秀作品

(1) 実践の意図

本校は全校生61名の小規模校である。純朴な児童が多く、幼少時から郊外のゆったりとした環境で育った子どもたちは自己表現を苦手とする姿が多々見られる。また、学区内に児童養護施設があり、そこから登校する児童は様々な生育歴をもつとともに、集団生活への適応に困難を示したり、自己肯定感をもてずいたりといった姿も見られる。こうした子どもたちに、将来にわたる「生きる力」を育むために、体験活動を通して多くの人々と関わったり、地域のよさを再発見することのできる機会を設けたりすることが大切であると考えている。地域の教育力の低下、地域における各家庭の結び付きの弱さが叫ばれる昨今、こうした問題を双方向的に解決し、児童の健全な育成を図っていくために、交流体験活動を有効に機能させたいと考えた。

(2) 実践内容

① 交流体験活動の計画

回	期 日	内 容	連携に関わった人材・推進担当者
1	8月13日(日)	第1回水保プロジェクト お化け屋敷、キャンドルアート	地区健全育成委員、保護者
2	11月16日(土)	餅つきと体験活動・昔遊びの会	地域の方々 地区健全育成委員、保護者

② 実践に当たって

- ・ 関係機関と実施内容についての調整・検討を行う。
- ・ 推進担当者に実施期日の1ヶ月前に案内を出し、打合せ会をもつ。
- ・ 作成した打合せ会要項に沿って、内容の詳細を協議決定する。
- ・ 打合せ会の決定を受け、地区の推進担当者と手分けをして、手配や準備を行う。
- ・ 当日の日程・役割分担・活動内容の詳細に従って、円滑な運営に努める。

③ 水保プロジェクトの実際

【お化け屋敷、キャンドルアート】8月13日(日)

地区内でお盆期間に開催される「盆踊り大会」に合わせて、水保小児童並びに水保地区の皆様楽しんでもらうとともに一体感を高めることをねらいとして、「お化け屋敷」と「キャンドルアート」を開催した。

たくさんの方に参加していただき、地区の盆踊りも盛り上げることができた。準備から地域の方と作業をし、地域の中での「人と人の縁」も学ぶ、とても貴重な体験となった。



【餅つきと体験活動・昔遊びの会】11月18日(土)

紙ひこうき・あやとり・お手玉・けん玉・コマ回しなどの昔遊びを地域の敬老の方々にお世話になりながら全児童が体験した。地域の方々との世代間の交流を深めることができ、有意義な学習の場となった。

また餅つき体験は、コロナ禍で中止が続き、3年ぶりの開催となった。詳細が分かる人が少なく、手探りで開催だったが、前日より餅米、杵臼、せいろ、大鍋、かまどなどの準備を地域の方々がしてくださり、児童は笑顔いっぱい餅つきの体験をすることができた。



(3) 考 察 (○:成果 ●:課題)

- どの実践も、コロナ禍前までは、通常通りに行われていたものである。久しぶりに開催できたという点で、児童にとっても地域にとっても意味深いものとなった。また、地域の方々とのふれあい活動を通して、地域を見直したり今後の学習活動につなぐ大きなきっかけをつくることができた。
- 体験活動の機会を通じて世代間交流を図ることで、開かれた学校づくりを推進することができた。
- 学校は地域によって支えられている。そしてそこには、お世話になっている貴重な組織や人材の方々がいっぱいいる。今後も、教頭は地域と学校のパイプ役としてつながりを大切にすることはもちろん、子どもたちの健全育成に向けて有機的に活動をコーディネートしていく必要がある。

令和5年度活動資料

飯野地区青少年健全育成推進会

1 活動内容

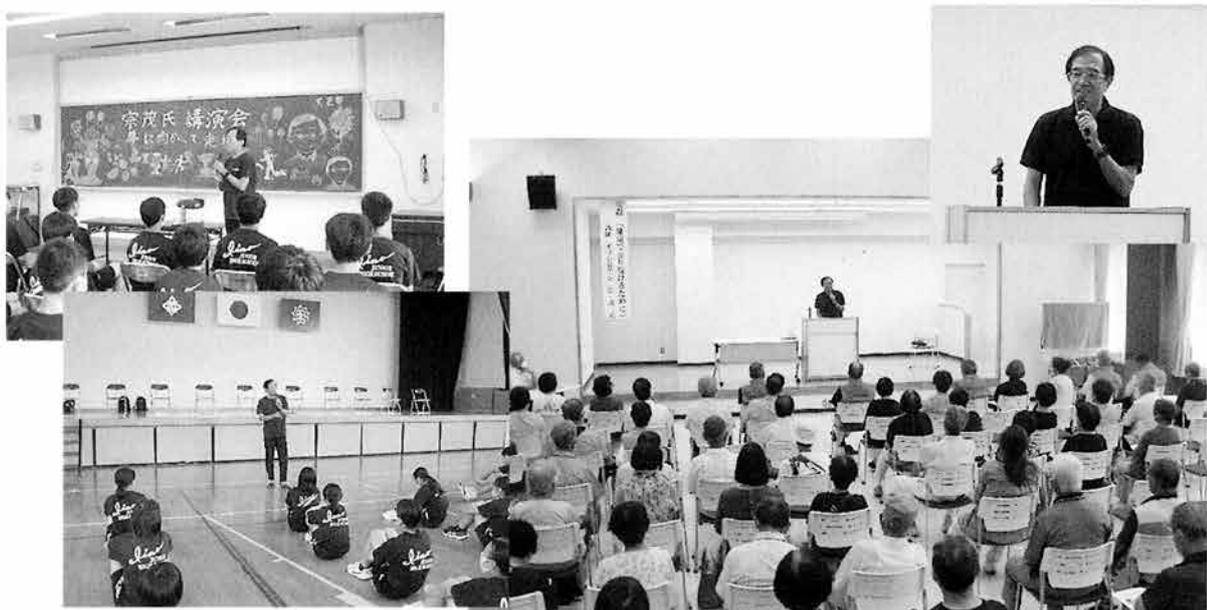
飯野地区青少年健全育成推進会では、非行防止活動部会による「ホコ天」および「UFOフェスティバル」等における非行防止パトロールや啓発活動を行いました。

また、飯野中学校同窓会、福島市社会福祉協議会飯野協議会、福島地区保護司会、健都ふくしま飯野地区推進委員会との共催で、「宗茂特別講演会」を開催しました。

2 活動の様子



(「ホコ天」「UFOフェスティバル」パトロール・啓発活動)



(宗茂特別講演会)